

「学校で働く看護師」をご存知ですか？

医療的ケア看護職員（学校看護師）希望者登録制度のお知らせ



学校で働く看護師とは？

医療的ケアが必要な子どもに対して、学校でケアを行い、子どもの豊かな学校生活を支え、成長や自立を支援する存在です。

学校での医療的ケアとは？

小・中学校や特別支援学校などに通う医療的ケアが必要な子どもに対し、例えば、喀痰吸引や経管栄養、導尿などの医療的ケアを行います。主治医の指示書等に従って行います。

特別支援学校で働く看護師の声 (文部科学省パンフレットより転載)

Q1 学校で勤務するきっかけを教えてください

以前は、内科病棟や老人保健施設で働いていました。子育てと両立できる仕事を探していて、勤務時間の条件が合ったため学校で働きはじめました。

Q2 実際に働いてみてどうですか？

日勤のみ・土日休みの勤務で、年次有給休暇や特別休暇もあるので、子育てとの両立がしやすいです。入職前は学校で働くことのイメージがつかず不安でしたが、事前に学校を見学したり、研修や先輩看護師・教職員からのサポートもあり、現在は不安なく勤務できています。

学校勤務2年目・40代



学校での一日の流れのモデル例

時間	看護師の業務
9:00	・看護師間での打ち合わせ 登校・引継ぎ ・保護者や担任と情報交換 ・必要な用具の確認 ・バイタルサインの確認
9:30	朝の会・1時間目 ・見守りや対話による健康状態の把握 ・水分注入や導尿などの準備 2時間目～4時間目 ・計画に沿った医療的ケアの実施 ・たんの吸引など、子どもの状態に合わせた対応 ・健康状態の観察や担任との情報交換 ・看護師間での打ち合わせ
12:00	昼食（給食） ・水分・栄養注入、たんの吸引
13:15	5時間目・6時間目 ※2～4時間目と同様 ・連絡帳への記入や記録の作成 ・下校準備（用具の片付けや確認） ・保護者や担任との情報共有
15:00	下校 ・退勤

小学校で働く看護師の声 (文部科学省パンフレットより転載)



Q1 学校で勤務するきっかけを教えてください

以前は、成人の急性期病棟などで勤務していました。先輩の看護師からの紹介で学校で働く看護師の存在を知り、お子さんが学ぶ機会を得られるお手伝いができることに魅力を感じました。

Q2 学校で働くやりがいを教えてください

学校ではお子さんの著しい成長過程を間近で見ることができます。お子さんが、教職員や看護師からのアプローチで変化していく様子や、セルフケアができるようになる過程をサポートし、一緒に喜ぶことが大きなやりがいです。

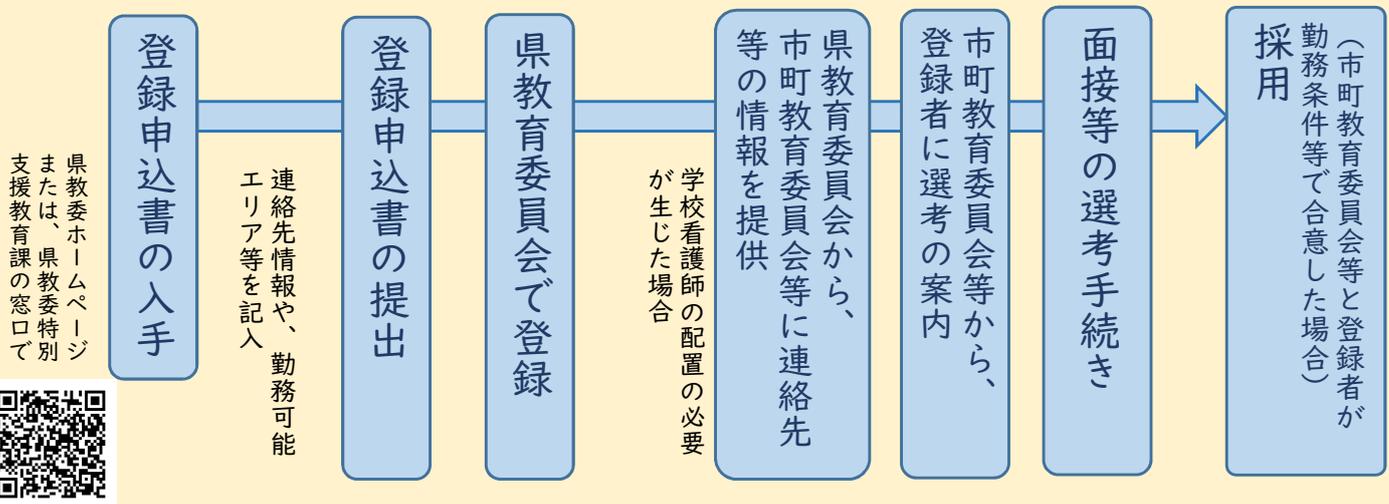
学校勤務9年目・60代

医療的ケア看護職員（学校看護師）希望者登録制度の流れ

香川県内の幼稚園、小・中学校、高校、特別支援学校において学校看護師として勤務を希望する方を登録し、学校看護師の配置を希望する市町教育委員会や県立学校に、登録者の連絡先等の情報を提供する制度です。

登録できる方は、看護師免許をお持ちで、病院等での臨床経験のある方です。

登録を希望される方は、香川県教育委員会のホームページから、登録申込書をダウンロードして、必要事項を記入のうえ、郵送又は電子メールにてお送りください。



県内の学校（園）では、看護師を求めています。看護師免許をお持ちの方は、医療的ケアが必要な子どもの安心・安全な学校（園）生活のため、ぜひ登録をお願いします。

※登録すれば、必ず採用されるものではありませんのでご注意ください。

※学校看護師の配置希望の状況によっては、複数の市町教育委員会や県立学校から、選考の案内があります。

お問い合わせ先 香川県教育委員会事務局特別支援教育課 087-832-3757
(登録申込み先) 〒760-8582 香川県高松市天神前6番1号 天神前分庁舎7階
E-mail: tokubetsushien@pref.kagawa.lg.jp

本資料の作成に当たり、文部科学省が公開しているパンフレット「参考資料_学校で働く看護師（広報用チラシ）」を参考とし、一部を引用しています。

https://www.mext.go.jp/content/20230508-mxt_tokubetu01-000027654_3.pdf